

目 次

序 章 公的扶助と雇用政策をめぐる議論と政策動向 — Ⅰ

はじめに Ⅰ

1. 社会保障と分権化 3
2. 公的扶助受給者の就労支援をめぐる政策動向 8
3. 地域雇用政策をめぐるドイツでの議論 12
4. 本書の課題と構成 16

第 1 章 ハルツ改革前史と改革の概要 ————— 17

はじめに 17

1. ハルツ改革の背景としての自治体財政問題 19
2. 雇用政策をめぐる自治体と連邦政府 25
3. 求職者基礎保障の概要 30

小 括 36

第 2 章 求職者基礎保障の手法と運用 ————— 38

はじめに 38

1. 受給者の動向 39
2. 長期失業者の窓口と給付 45
3. 職業生活への統合のための措置 50
4. 長期失業者向けの特徴的施策 56
5. 多様なプログラム提供主体 63

小 括 65

第3章 実施主体をめぐる争点 ————— 67

- はじめに 67
- 1. 施行前の条文改正 67
- 2. 初期段階の議論 73
- 3. 実施主体の問題点と修正 82
- 4. 実験条項評価報告書 87
- 小 括 90

第4章 違憲判決とジョブセンター改革 ————— 92

- はじめに 92
- 1. 11郡訴訟と違憲判決 93
- 2. 連邦制改革とその影響 96
- 3. ジョブセンター改革と認可自治体の拡張 101
- 小 括 109

第5章 認可自治体モデルの選択と実施状況 ————— 111

- はじめに 111
- 1. 実施組織形態の選択とその変化 112
- 2. 認可自治体の特徴 114
- 3. 2005年当初認可自治体選択の背景 119
- 4. ARGE から認可自治体への移行事例 126
- 5. 認可自治体モデル選択の意義 130
- 小 括 133

第6章 費用負担をめぐる連邦・自治体間関係 ————— 135

- はじめに 135
- 1. SGBII における連邦と自治体の財政負担関係 136

2. 住宅暖房費負担問題	142
3. 自治体財政の悪化と連邦・自治体間財政関係の動向	150
小 括	161

終 章 ローカルな雇用政策の意義と課題 ————— 164

はじめに	164
1. ハルツ改革の背景と概要	165
2. 実施主体をめぐる局面の変化	167
3. ハルツ改革の論点	169
4. 日本における生活保護・自立支援への示唆	175

あとがき

略語一覧

文献一覧

索 引